第 14 回農業活性化特別委員会

日時：平成 28 年 10 月 13 日（木）午後 1 時 30 分～

場所：市役所２階庁議室

◎　市長のもと、農業活性化特別委員会報告会を開催し、委員長より提言書の提出・内容説明を行うとともに、市長との意見交換を行った。

１）提言項目

①担い手の確保　②農地の集積、集約　③複合化・施設園芸の推奨

④６次産業化　⑤ブランド関連　⑥農業指導体制の強化

⑦行政及び議会の役割

２）市長の所見

　今回の委員会提言の内容を見ると、共通してやらなければならないことが多数あり、農協をはじめ各関係機関と連携を取りながら農業政策を進めていきたいので、議会の協力もお願いしたい。

３）市長との意見交換：

委員より市長に対し、次の意見・要望がだされました。

「農地の集積、集約」について

・農業機械の助成について、集団、団体等が対象となっているが、個人農家でも大規模経営化を図っていることから、対象にできないものか検討していただきたい。

「複合化・施設園芸の推奨」について

・ハウス主体の農業を展開していくために、ハウスリース事業等を実施できないか。

・既存の支援事業による助成のかさ上げを検討していただきたい。

「６次産業化」について

・６次化、地産地消の観点から、会議等で地元産品をもっと活用していただきたい。

「ブランド関連」について

・プレミアムメロンの販売戦略等を農協等と再検討が必要であり、市としても、指導していただきたい。

・ブランド８品目について、品目をしぼるなど見直しの再検討が必要である。

「農業指導体制の強化」について

・農業政策を行う上で、農協との連携は欠かすことができないことから、二つの農協と円滑な協力体制が構築できるよう、農協組織(統合を含んだ)の見直しについて強く要望したい。

◎　今回の提言を踏まえ、今後の市の農業政策にどのように反映されるのか、注視していくこととする。また、議会としても、市の農業活性化策を推進していくための役割を担っていくよう取り組んでいくこととする。